

機械設備機器一般仕様書【目 次】

0 0 0	総 則	000 - 1
0 0 1 - 1	鋼板製ローラーゲート	001 - 1 - 1
0 0 1 - 2	鋼板製スライドゲート	001 - 2 - 1
0 0 2	鋳鉄製丸型スライドゲート	002 - 1
0 0 3 - 1	鋳鉄製角型ローラーゲート	003 - 1 - 1
0 0 3 - 2	鋳鉄製角型スライドゲート	003 - 2 - 1
0 0 4	スクリーン	004 - 1
0 0 5	自動除塵機	005 - 1
0 0 6	走行形ローブ式除塵機	006 - 1
0 0 7	沈砂掻揚機（固定式）	007 - 1
0 0 8	〃 （走行式）	008 - 1
0 0 9	ベルトコンベヤ	009 - 1
0 1 0 - 1	フライトコンベヤ	010 - 1 - 1
0 1 0 - 2	流水トラフ	010 - 2 - 1
0 1 1	スキップホイスト	011 - 1
0 1 2	ホッパー	012 - 1 - 1
0 1 3 - 1	立軸斜流ポンプ	013 - 1 - 1
0 1 3 - 2	立軸渦巻斜流ポンプ	013 - 2 - 1
0 1 4	横軸斜流ポンプ	014 - 1
0 1 5	フラップ弁	015 - 1
0 1 6	仕切弁	016 - 1
0 1 7	バタフライ弁	017 - 1
0 1 8	逆止弁	018 - 1
0 1 9	平行軸歯車減速機	019 - 1
0 2 0 - 1	流体継手内蔵歯車減速機	020 - 1 - 1
0 2 1	直交軸クラッチ内蔵歯車減速機	021 - 1
0 2 2	遊星歯車減速機	022 - 1
0 2 3	ディーゼル機関	023 - 1
0 2 4 - 1	地下貯蔵式燃料タンク	024 - 1 - 1
0 2 4 - 2	地上定置式燃料タンク	024 - 2 - 1
0 2 5	天井クレーン	025 - 1
0 2 6	汚泥掻寄機	026 - 1
0 2 8 - 1	汚泥掻寄機（中心駆動中央支持形）	028 - 1 - 1
0 2 8 - 2	〃 （中心駆動懸垂形）	028 - 2 - 1
0 2 9 - 1	直結式多段ブロワー	029 - 1 - 1
0 2 9 - 2	直結式鋳鉄製ブロワー	029 - 2
0 3 1 - 1	空気濾過装置（湿式）	031 - 1 - 1
0 3 1 - 2	〃 （乾式）	031 - 2 - 1
0 3 2	マイクロストレーナ	032 - 1
0 3 4	真空ポンプ	034 - 1
0 3 5	横軸無閉塞型渦巻ポンプ	035 - 1
0 3 6	片吸込渦巻ポンプ	036 - 1
0 3 7 - 1	水中ポンプ（雑排水用）	037 - 1 - 1
0 3 7 - 2	〃 （着脱式排水用）	037 - 2 - 1
0 3 7 - 3	〃 （清水用）	037 - 3 - 1
0 3 8	合成樹脂製送風機	038 - 1
0 4 0	ダイヤフラムポンプ	040 - 1
0 4 1	ギヤーポンプ	041 - 1
0 4 2	一軸ネジ式ポンプ	042 - 1
0 4 4	油圧シリンダ -	044 - 1
0 5 0	F R P 覆蓋	050 - 1
0 5 1 - 1	手動ゲート開閉装置	051 - 1 - 1
0 5 1 - 2	電動ゲート開閉装置	051 - 2 - 1
0 5 1 - 3	ゲート用スピンドル	051 - 3 - 1

0 6 2	合成樹脂製タンク	062 - 1
0 6 3	油圧ユニット	063 - 1
0 6 7	ホッパー用重量計	067 - 1
0 6 9	スカム分離機	069 - 1
0 7 0	スカム脱水機	070 - 1
0 7 1	スカムスキマー	071 - 1 - 1
0 7 2	ベルトプレス形脱水機	072 - 1
0 7 7	自動洗浄ストレーナー	077 - 1
0 8 3	散気装置	083 - 1 - 1
0 8 5 - 1	し渣脱水機（ロータリプレス式）	085 - 1 - 1
0 8 5 - 2	" （ローラープレス）	085 - 2 - 1
0 8 5 - 3	" （スクリュープレス）	085 - 3 - 1
0 8 5 - 4	し渣洗浄機（パルセーター）	085 - 4 - 1
0 8 5 - 5	沈砂・し渣洗浄機	085 - 5 - 1
0 8 5 - 6	し渣破碎機	085 - 6 - 1
0 8 6	可搬式開閉機	086 - 1
0 8 7	遠心濃縮機	087 - 1
0 8 8	遠心脱水機	088 - 1
0 9 0	昇降式水中攪拌機	090 - 1
0 9 1	砂ろ過機	091 - 1
0 9 2	吸込スクリュール付汚泥ポンプ	092 - 1
0 9 3	立形パドル式攪拌機	093 - 2
0 9 5 - 1	薬液ポンプ	095 - 1 - 1
0 9 5 - 2	汚泥ポンプ	095 - 2 - 1

適用

大阪府土木部（以下「府」）が発注する機械・電気等設備工事に使用する機器（以下「機器」）は、図面または特記仕様書に品質規格を明示した場合を除き、本一般仕様書（以下「本仕様書」という）を適用する。

機器の規格等

機器は図面又は特記仕様書、本仕様書に明示された形状、寸法、品質規格等を有しているもので、かつ錆、腐蝕、変質、変形機能低下等の異常があってはならない。

機器の承諾

機器の製作に先立ち、承諾図書（提出書類一覧表参照）を監督員に提出し、承諾を得るものとする。

図面又は特記仕様書及び本仕様書に明示された以外の機器及び材料を使用する場合は製作・購入前に設計図面等により、監督員の承諾を受けるものとする。

機器の検査

設計図書又は特記仕様書及び本仕様書に明示されている機器について、製作会社において監督員が指示する中間（工場）検査を受けるものとする。

また、現地において、原則として実負荷による連続運転総合動作等を行い性能、機能の確認検査を受けるものとする。

機器の設計製作

機器は、主要機器、一般機器、購入機器に分類される。主要機器は、設備工事における重要な機器をいい、請負者が自ら責任を持って品質保証を行なう請負者銘板を取り付けた機器（以下「自社製作機器」という）であることが必要である。

主要機器は自社製造機器を原則とする。自社製造機器とは、請負者が設計、製造及び検査を一貫して行なう機器をいう。

製造外注機器とOEM(original equipment manufacturing)外注機器は、自社製造機器によりがたい理由があり、かつ外注する製作会社が優秀な場合に限り自社製造機器として扱う。

一般機器は、主要機器及び購入機器以外の機器をいう。一般機器は、自社製作機器、または機器見積り依頼先相当の優秀な製作会社が製作する機器とする。

購入機器とは、専門的製作会社において製作される標準汎用的機器をいい、特記仕様書で指定する製作会社において製作される機器であることを原則とする。これによりがたい場合、指定会社以外の製作会社が製作する機器については、その製作会社が優秀な場合に限り、指定会社が製作する機器と同等として扱う。

機器の輸送搬入

機器の輸送、搬入に先立ち、施工計画書に基づいて輸送の方法、経路、時期等について監督員と打合せを行うものとする。

輸送中に機器等に損傷を与えた場合は、監督員に報告するとともに適切な処置を講ずるものとする。

付属品、予備品

機器の付属品、予備品は図面又は特記仕様書及び本仕様書に記載されているもののほか、運転上及び保守上必要なものは具備するものとする。

塗装仕様

機器の塗装については特記仕様書及び機械・電気等設備工事共通仕様書（案）による。尚、機器の標準塗装は次表とする。

【 機器の標準塗装仕様 】

	系	工 程	塗 料 名	標準膜厚 (μ)	
水 中 部	タポ キ ルシ エ系	プ ラ イ マ ー	シンクリッチプライマー (有機)	20	計
		第 1 層 (下 塗)	タールエポキシ 樹脂 (1 種)	80	260 μ
		第 2 層 (中 塗)	タールエポキシ 樹脂 (1 種)	80	
		第 3 層 (上 塗)	タールエポキシ 樹脂 (1 種)	80	
水 上 部	長ル 油 性酸 フ タ系	プ ラ イ マ ー	エッチングプライマー	15	140 μ
		第 1 層 (下 塗)	鉛系さび止め塗料 1 種	35	
		第 2 層 (下 塗)	〃 2 種	35	
		第 3 層 (中 塗)	長油性フタル酸樹脂塗料	30	
		第 4 層 (上 塗)	〃	25	
耐 熱 部	アル ミニ ウム ペ イ ン ト 系	プ ラ イ マ ー	エッチングプライマー	15	105 μ
		第 1 層 (下 塗)	シアナミド鉛	25	
		第 2 層 (下 塗)	〃	25	
		第 3 層 (中 塗)	耐熱アルミニウム塗料	20	
		第 4 層 (上 塗)	〃	20	
	シリ コン 樹 脂 系	第 1 層 (下 塗)	シリコン樹脂塗料	30	100 μ
		第 2 層 (下 塗)	〃	30	
		第 3 層 (中 塗)	〃	20	
		第 4 層 (上 塗)	〃	20	

機 器 一 般 仕 様 書

機 械 設 備

平 成 1 2 年 1 0 月

大 阪 府 土 木 部